

公開講座：

会場：1F ガーデンルーム EAST
タイムスケジュール：10:00～12:30

シンポジウム：糖尿病と歯周病の関連について考えよう

学術委員会

基調講演：命をねらう口腔細菌！？～全身と歯周病の関連について考える～
日本大学歯学部歯周病学講座 助教授 菅野直之 先生

講演1：「生活習慣病と糖尿病・メタボリックシンドロームについて」
那珂記念クリニック院長 遅野井健 先生

講演2：「生活習慣病と歯周病」茨城県・茨城県歯科医師会の取り組み
茨城県歯科医師会理事・茨城県保健福祉部保健予防課嘱託 渡辺進 先生

座長： 茨城県歯科医師会学術委員会委員 萩原敏之
同上 杉田裕一

近年、歯周病が全身の健康をおびやかす疾患であることが明らかになってきました。現在歯周病は、糖尿病、心血管疾患、誤嚥性肺炎、早産・低体重児出産などの疾患と関連があると考えられ、さらにはメタボリックシンドロームのリスク因子のひとつではないかとも考えられています。このため、日本歯科医師会では全身の疾患予防の観点からも歯や口腔の健康増進が非常に大切であるとして、積極的に研究や普及活動に取り組んでいます。茨城県歯科医師会としても、全国に先駆けてこの問題に取り組んでおります。今回のシンポジウムは、県民の皆様にも口腔疾患と全身的な疾患との関わりについて知っていただくとともに、歯と口の健康増進について考えていただきたく企画いたしました。基調講演には、歯周病と全身疾患との関わりについての研究の第一人者であります日本大学の菅野直之先生にご参加いただきました。先生は、昨年の世界口腔保健学術大会記念口腔保健シンポジウムのシンポジストでもあります。講演では、糖尿病の専門医として第一線で活躍しております遅野井健先生にご参加していただきました。生活習慣と糖尿病について貴重なお話しをしていただけたと思います。講演では、現在の茨城県と茨城県歯科医師会の生活習慣と歯周病の問題についての取り組みを渡辺進先生から報告いたします。最後に三先生どうし、さらには参加者の皆様も含めて討論会を予定いたしております。ぜひ、多数の皆様のご参加をお待ちいたしております。

超高齢社会が進んでいるわが国では、どのように健康寿命を延ばすかが、健全な社会を保つために重要な課題となっています。そのひとつの解決策が、歯や口の疾患予防にあります。このシンポジウムが、これからの健康社会をつくる第一歩になればと願います。

基調講演：

命をねらう口腔細菌！？～全身と歯周病の関連について考える～

日本大学歯学部歯周病学講座 助教授 菅野直之 先生

歯周病は、プラーク中の細菌による歯肉の炎症を発端に、歯を支持する組織に炎症と破壊が進行し、最終的には抜歯の運命をたどる慢性炎症性疾患である。30代以降、加齢とともにその罹患率は高まり、働き盛りである40代から50代では9割近くが有病者である。歯周病は成人の抜歯原因の半数を占め、高齢者のQOLを低下させる一因となる。近年、歯周病は、歯を喪失する原因になるばかりでなく全身の健康に少なからず影響を与えているとする研究に関心が集まってきている。中等度の歯周病患者では、歯周ポケットの表面積は、その人の手のひらと同じであるとされ、歯周ポケットを介した細菌、菌体成分の侵入や歯肉局所での炎症メディエーターの産生および唾液中に含まれる歯周病原菌を誤嚥することなどが、全身に影響を与えられている。

現在のところ、歯周病と関連があると考えられている疾患は、糖尿病、心血管疾患、誤嚥性肺炎、早産・低体重児出産である。また、歯周病は肥満や耐糖能異常との相関も示されており、メタボリックシンドロームのリスク因子のひとつではないかと考えられている。歯周病の治療は口腔内ばかりでなく、糖尿病の症状の改善や早産および誤嚥性肺炎の発症率の低下につながる事が報告されている。歯や口の健康の増進は全身の健康の維持・増進とも大きく関わり、健康寿命の延伸につながることから、歯周病の予防と治療の意義は超高齢社会を迎えた現在、ますます重要になってきている。

講演1：遅野井健先生の抄録は当日会場にて配布予定です。

講演2：「生活習慣病と歯周病」茨城県・茨城県歯科医師会の取り組み

茨城県歯科医師会理事・茨城県保健福祉部保健予防課嘱託 渡辺進 先生

・県より【茨城県医師会】に依託事業として18年度実績は、
生活習慣病予防事業推進協議会の設置

県医師会、市郡医師会が実施する「生活習慣病予防対策推進事業」を円滑に行うため、また循環器疾患予防月間等において、関係機関の協力支援を得るため、「生活習慣病予防事業推進会議」を設置し、具体的な方策について検討する。

・21団体で構成（この中に歯科医師会も入っています）

中央地区健康フォーラムの開催

・日 時：平成18年9月24日（日）13:30～16:00

・場 所：茨城県市町村会館 / 水戸市

・テーマ：「脳卒中にならないために」

・主 催：茨城県医師会・茨城県・市町村・水戸市医師会・ひたちなか市医師会・東茨城郡医師会・笠間市医師会・那珂医師会

*11:00から後援団体などによる各種相談会、展示会を開催

啓発普及・統一資料の作成

・生活習慣病予防を図るための統一ポスター、統一資料（啓発用物品）を作成する。

（啓発用物品については中央フォーラム、地域フォーラム、公開講座等で配布）

・新聞広告を掲載する。（9月1日茨城新聞朝刊掲載）

・レクチャーバンク講師用のデータについて検討する。

・県が設置する「循環器疾患予防月間」について、積極的に協力する。

その他、18の地域でフォーラムや公開講座を行なう。

・次年度（19年度）歯科医師会への依託と、本会としての取り組み

生活習慣病対策として予算の予算、および事業について。

事業内容

1. 市町村と連携して、生活習慣病と歯周病の関連の講演年5回程度
2. ミニ講演会として、一般向け生活習慣病と歯周病の関連講演会年5回程度
3. 歯科医師向けに、糖尿病の講演1回、医師向けに歯周病の講演1回

